

特許第4943532

特許技術の概要

- ボルトのネジ先端部と落下防止具の先端部が密着した状態でナットをボルトから外し、そのまま落下防止具に移動させることでナットの落下を防止する技術。

特許技術が提供できる価値（できること）

- ボルトにナットを取付・取外する作業時に、ナットの落下を防止することができる

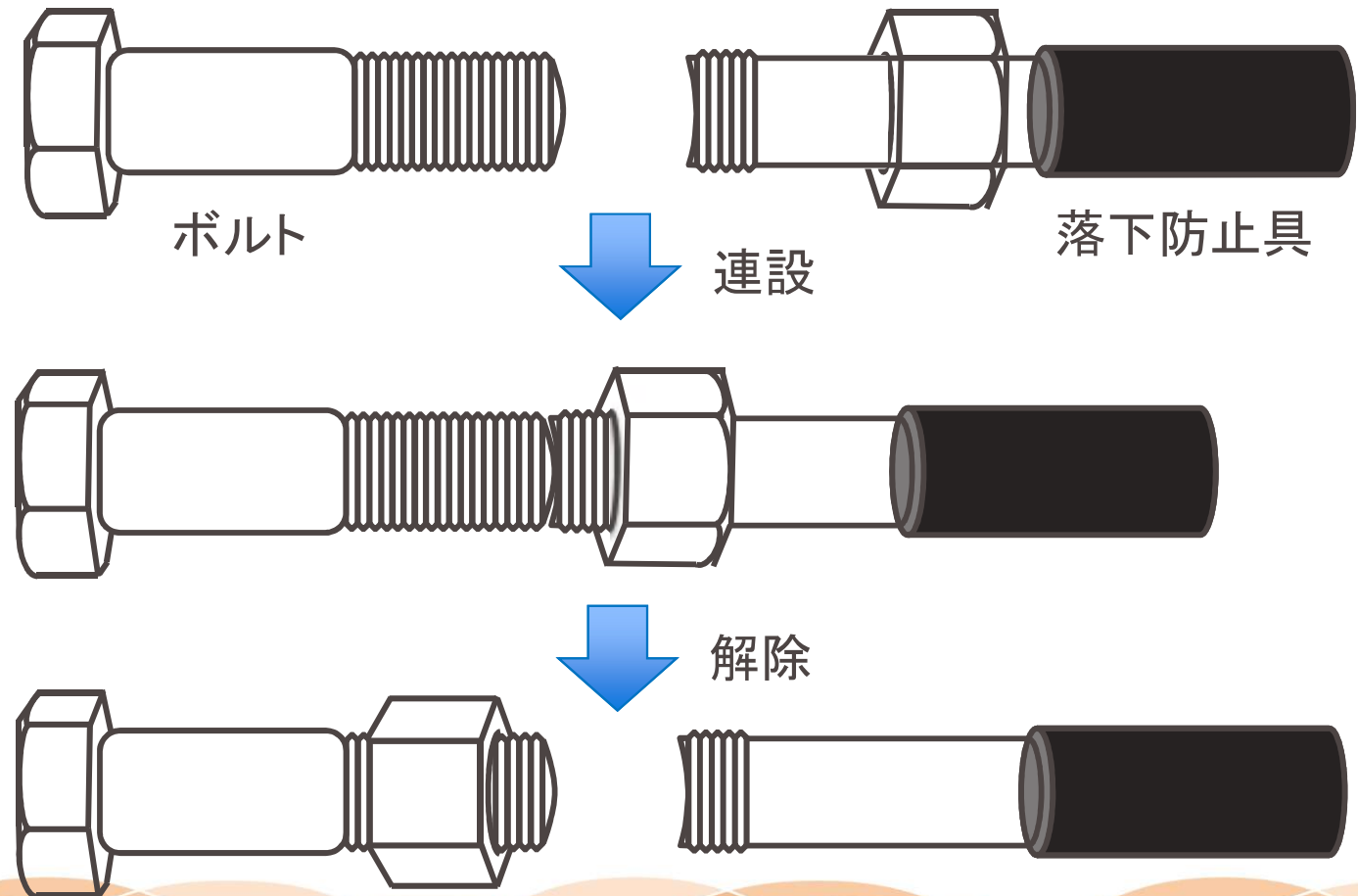
活用企業のイメージ

落下防止具の特性を活かした新商品の開発や既製品への機能付与など

- 作業工具を製造する企業
 - 高所でナットの取外し・取付け作業を行う企業への販売（電気・設備工事など）
 - 狭所でナットの取外し・取付け作業を行う企業への販売（電気・設備工事、自動車整備など）

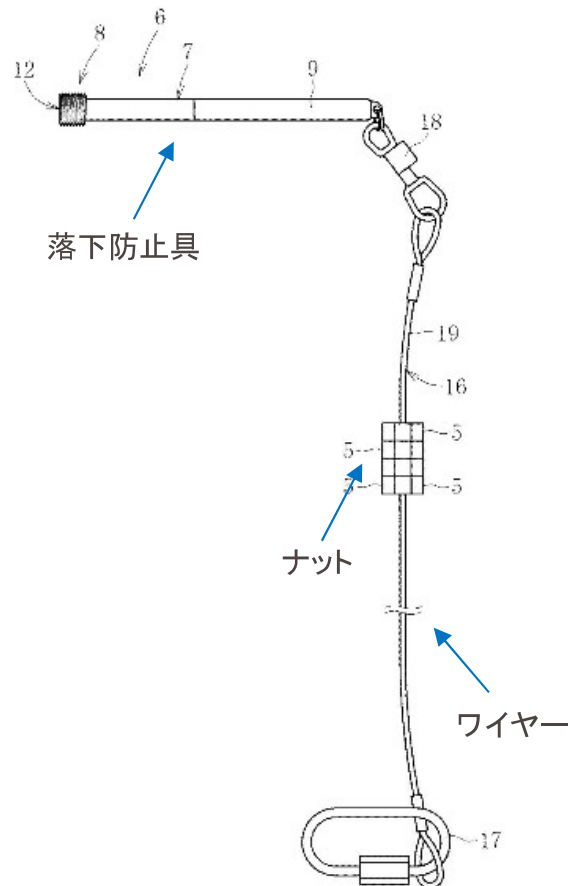
特許技術の内容

- 本発明の落下防止具は、ボルトのネジ先端部と落下防止具の先端部が連設されるため、ナットが落下することを防止できる。また、ナットの取付け・取外しをした後は突合せ状態を解除するだけでよく、容易に連結状態を解除できるため、容易に作業を行うことができる。



技術の応用例

- 多数のナットを保持したい場合
グリップ部分を細くすることで、下図のように
落下防止具に取り付けたワイヤー材で
多数のナットを保持することも可能。



- 狭所での作業を対象とする場合
下図のような構造とすることでコンパクトかつ
ナットの移動が容易なものにすることも可能。

